

長野市公共施設適正化検討委員会による「国民スポーツ大会・ 全国障害者スポーツ大会の施設整備に向けた提言」の概要

【概要】

- 提言日:令和4年3月3日(水)
- 提言者:長野市公共施設適正化検討委員会(倉田博光委員長)

【提言内容】

総論

- 現在の施設は、必要な長寿命化改修を施すなど、十分に活用
 - 新たな整備等が必要な場合は、公共施設マネジメントに沿って、十分に検討
- なお、施設の整備に当たっては、以下に考慮
- ・ 普段スポーツ施設を利用しない市民を含めた広い市民の理解
 - ・ 災害発生時などスポーツ以外での複層的な活用
 - ・ ユニバーサルデザインの推進
 - ・ 国等による財政的支援の確保や整備後の収支を見越した財政負担の抑制

施設別

体育館

- 総合体育館などの大規模体育館は、スポーツ振興の拠点施設となっているため、国スポ・全障スポ後も重要な役割を維持していくよう検討

プール

- アクアウィングは、長寿命化改修等を行い、国スポ・全障スポ後も有効に活用するよう対応

運動場(野球場)

- 市有施設は、長寿命化改修など適切な対策を検討
- 県有施設は、県に働きかけ、国スポ開催に支障のないよう対応

運動場(球技場)

- 長野Uスタジアムは、今後も市のスポーツ振興に有効に活用
- 国スポを迎えるに当たり不足する競技環境の確保は、確実にできるよう対策を検討